

二十 『下學集』（かがくしゅう）

本書は、自序に

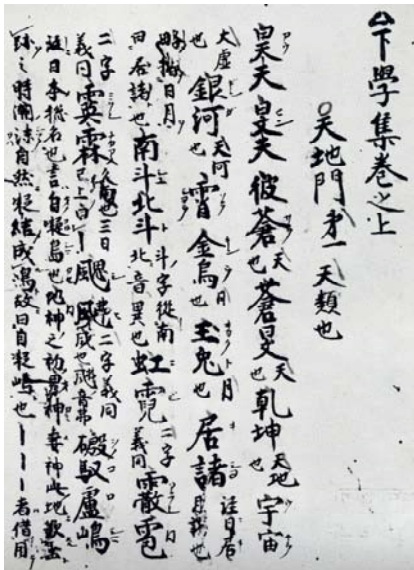
皆文安元稔アツホウコント 困敦 閨朱明 林鐘 下澣 東麓 破衲 序

とあることによつて、著者については、建仁寺靈洞院東麓軒の住僧かと考えられていますが、正確には未詳です。成立は、自序により文安元年（一四四四）と言われています。

写本は慶長以前のもので四〇本を越え、刊本は元和三年（一六一七）が初刊です。

『下學集』は、分類体の国語辞書です。「天地門・時節門・神祇門・人倫門・官位門・人名門・家屋門・氣形門・支體門」（以上上巻）、「態藝門・絹布門・飲食門・器財門・草木門・彩色門・數量門・言辭門・疊字門」（以下下巻）の一八門に意味分類されています。

亀田本『下學集』



東京教育大学蔵本『下學集』

